

教育福祉常任委員会議会報告会について

1 日時 平成30年8月21日（火） 午後3時から4時30分まで

2 場所 生涯学習プラザ（4階）大会議室(2)

3 参加者 ・いわき市議会教育福祉常任委員会

委員長 小野 潤三

副委員長 木村謙一郎

委員 坂本 康一

狩野 光昭

塩田美枝子

馬上 卓也

蛭田 源治

蛭田 克

佐藤 和良

- ・ 公立保育所の保育士 3名
- ・ 私立保育所の保育士 3名
- ・ 公立幼稚園の教諭 3名
- ・ 私立幼稚園の教諭 3名
- ・ 私立保育園の経営者 3名
- ・ 私立幼稚園の経営者 3名

4 内容

(1) 第1部 議会報告

2月定例会及び6月定例会で審議した議案等を市議会だよりにより説明

(2) 第2部 意見交換（3班編成）

保育・幼児教育の担い手確保をテーマにワークショップ形式により実施

5 意見交換で発表された内容

- ・ 給料を上げる
- ・ 処遇改善費を2倍とは言わないが、1.2倍くらいにする
- ・ もう少し休みを多くする
- ・ 土・日曜日休みを確保する

- ・ 夏休みをせめて3日間とれるようにする
- ・ 人材育成を支援する
- ・ 保育・幼児教育の研修を充実させる
- ・ 保育士・教諭を支援する支援員を育成し、現場へ派遣する
- ・ 潜在保育士の研修をふやす
- ・ 以前正規職員として勤めていた方で、一旦やめた方をまた現場に復帰させる
 - なお、復帰させるに当たっては正規職員として復帰させる
- ・ 奨学金を出して学生のうちから人材を確保する
 - 茨城県では、県が奨学金を出して保育士として5年働けば返還免除となる制度がある
- ・ 保育・幼児教育の現場の魅力をPRする
- ・ 職場体験・インターンシップなどを利用して、若いうちから職場の魅力を伝えていく
 - また、SNSなどITを活用して魅力を発信していく
- ・ 中学生の職場体験などはあるが、小学生のうちから職場を見てもらうことで、将来的な人材確保・育成につながる
- ・ 事務作業・作成する書類を軽減させる
 - また、仕事の分担など保育に専念できる環境をつくる
- ・ 保育士の配置基準を見直す
- ・ 首都圏など給料が高いために流出した人材を呼び戻すための支援をする
- ・ モンスターペアレントへの対応として、新任職員が対応し、やめてしまった事例があるため、フリーで対応できる職員がいれば良い
 - また、職員が増えれば、保護者への対応が充実する
 - 園長・主任の先生とともにチームで対応することで、職員を守る体制をつくる
- ・ 施設を充実させる
 - 休憩室にエアコン・テレビを設置する
- ・ SNSなどで人材を募集する
- ・ 学生は自分が働きやすいところを選ぶようになっている
 - 休みが多く給料が高い環境を求め、病院等の託児所を選ぶ方が多い